

取組事例 ワイン産業の振興による交流人口の拡大と生産基盤の強化

(余市町)

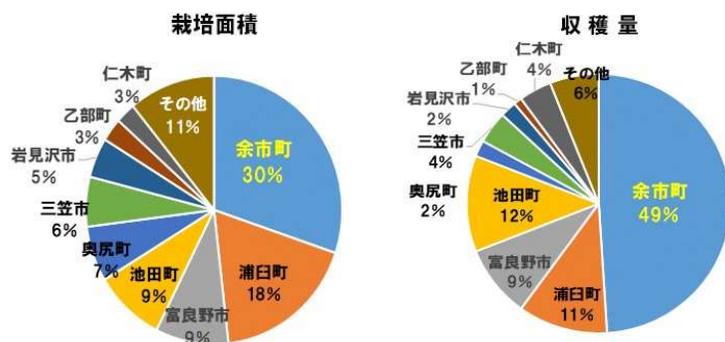
果樹栽培に適した気候に恵まれた余市町では、地域資源であるワイン用ぶどうを活用したワイナリーの開設が相次いでおり、官民連携による雇用の創出や将来の担い手確保を図ることで地域経済の自立促進を目指している。

関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R3)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
町内ワイン用ぶどう生産者数(件)	51	58	59	98%
官民協働の新たな取組件数(件)	0	4	10	40%

ワイン用ぶどう生産状況

平成27年度



(余市町調べ)

余市町は、ワイン用ぶどうの作付面積が北海道一であり、平成23年には「北のフルーツ王国よいちワイン特区」に認定されている。



ワイン産業に関連する生産者、事業の拡大により、担い手確保、地域経済の自立促進につながっている。

取組事例

よいち地域まるごとマリアージュ推進プロジェクト

○目的

けん引役となるワイン産業を核としながらも、6次産業化の推進等によるさらなる一次産業の魅力向上と生産基盤の拡大、関係人口の創出による新たな一次産業の担い手を確保し、持続可能な一次産業の基盤を整備するとともに、地方への新たな人の流れを創出する



○主な取組

- ・直売・Webサイト整備支援事業
- ・首都圏PR・ネットワーク構築業務
- ・醸造用ぶどう、シャインマスカット等の圃場整備への補助
- ・醸造設備の整備強化
- ・関係人口創出事業
- ・地産地消イベントの開催支援
- ・民泊・農泊等の推進事業

